



# 上川井だより

令和3年2月26日

横浜市立上川井小学校

校長 山崎 真紀子

## 3月号

### 協力は、力の足し算

「桃の節句」を間近に控え、朝夕の寒さも少しずつ和らいできました。校庭を彩る桜の開花が待ち遠しい今日この頃です。

令和2年度も残すところあと一か月となりました。休校に始まり、コロナ禍に翻弄された毎日に、当たり前前の通用しない一年間でもありました。制限のある中でもよりよい教育をと、検討や準備に時間をかけ、当たり前を見直しながら教職員一丸となって頑張ってきました。これまで支えてきてくださった保護者の皆様、地域の皆様の本校への温かいご理解ご協力に感謝申し上げます。

6年生は今、小学校生活の総仕上げである卒業式に向け、準備を進めています。式に臨む心構えや、姿勢、細かな所作について練習していきますが、上川井小学校で身につけた頑張る心や思いやりの心を生かして式に臨んでほしいと思います。

6年生が卒業文集に書いた作文には、クラスの仲間との友情や温かい気持ちが多く書かれていました。2ヶ月以上の休校期間を経験したことで、学校に通える喜びや友達とふれあう楽しさをより強く感じたのかもしれませんが、「このクラスで良かった。」「困っていると声をかけてくれた。」

「クラスのみんなと食べたお弁当は何よりおいしく、楽しい時間だった。」といった文が多く、『一致団結 最高の18』というクラス目標が十分達成できたことを感じます。6年間という長い学校生活の中では、時に意見が食い違ったり、歩調をそろえることが難しかったりしたこともあったでしょう。それでも、一緒に居て安心できた、気持ちを分かり合えた、友達の存在が一步を踏み出す勇気を後押ししてくれたと、そう感じて卒業できるというのは、本当に素敵なことです。

卒業生からバトンを受け継ぐ4、5年生も、自分たちで企画・準備した『なかよしの会』を2月22日に実施しました。レクリエーションを行いながら、学年の枠を超えて協力することの実際を学ぶ、校内体験学習です。企画の段階では、それぞれの学年で集まって行動してしまいがちだった子どもたちも、少しずつ混じり合い準備を進めることができるようになってきました。これからの成長が楽しみです。

「協力」は、力の足し算です。できたら、さまざまな大きさ、いろいろな種類の力が合わさった方が困難なことも、苦手なことも解決できます。一人一人の個性が足し算されて、より大きな魅力という力に育って、上川井小学校を巣立っていけるよう、指導・支援していきたいと思います。

感染症に対する対策で、学校の様子を見に来校していただく機会の少ない1年間でした。1日も早く収束し、また人とのふれあいを大切に教育活動を進めていきたいと願っております。今後とも、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。